

# プロフィール

## マルハニチログループのあゆみ

マルハニチログループは、1880年に創業したマルハと、1907年に創業したニチロが2007年10月に経営統合し、誕生しました。日本人にはなじみの深いニチロの「あけぼのさけ」は100年を超えた今も食卓で愛され続けており、マルハがアラスカに買付拠点を設立したときからも半世紀余りの歳月が流れました。

今、マルハニチログループは、“グローバル領域で「マルハニチロ」ブランドの水産品、加工食品を生産・販売する総合食品企業”への飛躍をめざして、持続的成長への道を歩み始めています。

## 水産業の礎を築く

日本における“水産業のパイオニア”として  
近代漁業と水産加工の礎を構築

- 1880 **マルハ** 中部幾次郎が鮮魚仲買運搬を開始<創業>
- 1905 **マルハ** 日本初、発動機付鮮魚運搬船「新生丸」誕生
- 1907 **ニチロ** 堤清六と平塚常次郎が新潟港出港<創業>
- 1910 **ニチロ** カムチャッカでサケ缶詰の生産開始



## 食品加工事業の拡大

食糧難・タンパク質不足を補うべく漁業を再開する  
とともに食品加工事業へも展開

- 1945 **ニチロ** 北海道沿岸、以西底曳、遠洋カツオマグロ漁業、水産加工事業へ進出を図る
- 1947~1950 **マルハ** 荷受会社4社(大都魚類、大京魚類、神港魚類、大東魚類)を設立
- 1953 **マルハ** 養殖事業を開始  
フィッシュハム・ソーセージを発売
- 1960 **マルハ** 飼料畜産事業に進出  
**ニチロ** 陸上加工部門の増強に乗り出す  
市販用冷凍食品第1号「あけぼのスティック」発売
- 1963 **マルハ** アラスカに買付拠点を設立
- 1979 **ニチロ** ピーターパンシーフーズ社(米国)に資本参加



## 新事業体への転換

「200海里漁業規制」を背景に、漁業から  
水産商事事業・食品加工事業へ基幹事業を転換

- 1985~1990 **マルハ** 水産会社4社(トランスオーシャンプロダクツ、アリエスカシーフーズ、ウェストワードシーフーズ、シュエプリームアラスカシーフーズ)を北米に設立
- 1990 **マルハ** キングフィッシャー社(タイ)に資本参加

## 新体制の構築

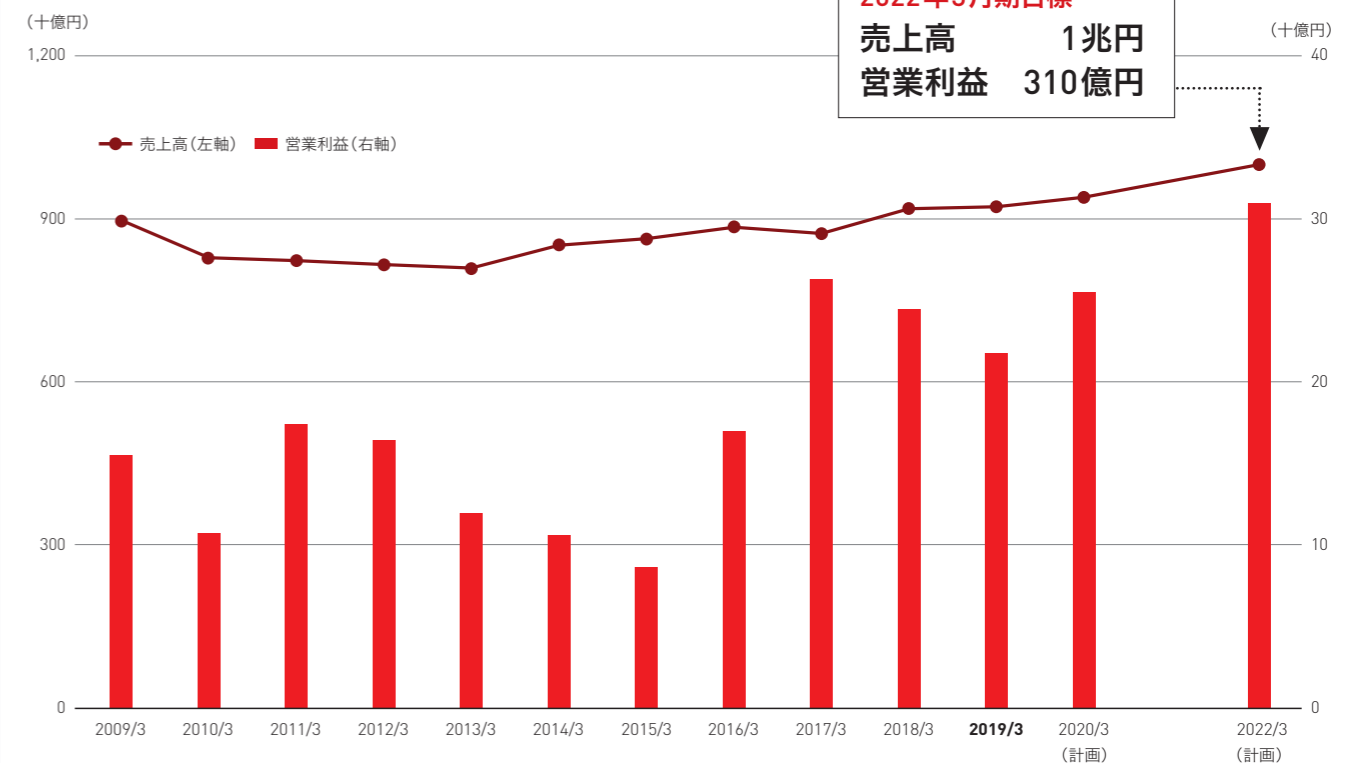
「水産物調達力」と「商品開発力」を併せ持つ  
“総合食品企業”へ

- 2007 **マルハ** **ニチロ** マルハとニチロが経営統合
- 2012 ヤヨイ食品(現・ヤヨイサンフーズ)を子会社化
- 2013 シーフードコネクション社(オランダ)、オーストラル・フィッシャリーズ社(オーストラリア)に資本参加

### 中期経営計画

<b>Double Wave 21</b> 「経営統合の完成」と 「統合効果の追求」	<b>Double Wave Next</b> 世界の市場変化を 見据えて飛躍するための “基礎固め”	<b>Challenge toward 2017</b> 前半2年：再生と一丸への挑戦 後半2年：成長への挑戦 (アクリフーズにおける農業混入事件を受けて)	<b>Innovation toward 2021</b> 「企業価値の向上」と 「持続的成長」
--	--	---	--

### 売上高と営業利益の推移



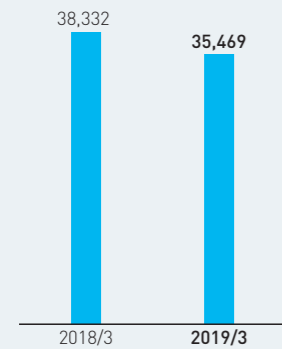
## 事業領域

マルハニチログループは、マルハニチロ(株)と子会社98社(うち連結子会社76社)および関連会社55社により構成されており、マルハニチロ(株)を中心に、グループ事業を5セグメント11ユニットに分類し、統一的な戦略のもと、世界規模で事業価値の最大化を図っています。水産物における圧倒的優位を生かし、厳選された素材をもとに、たくさんの「おいしさ」と「しあわせ」を創造する食品メーカーとしての領域拡大を図ることで、世界最大かつ世界で唯一の価値を提供する水産物サプライヤーをめざしています。



漁業・養殖セグメント

売上高 (百万円)



売上高構成比 **3.8%**

漁業・養殖ユニット

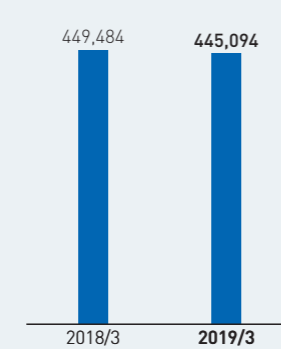
### 事業内容

はえ縄、まき網などの漁業、クロマグロやカンパチ、ブリなどの高付加価値魚種の養殖、海外合弁事業を柱に、直接、水産資源の調達を行っています。



商事セグメント

売上高 (百万円)



売上高構成比 **48.3%**

水産商事ユニット  
 荷受ユニット  
 畜産商事ユニット

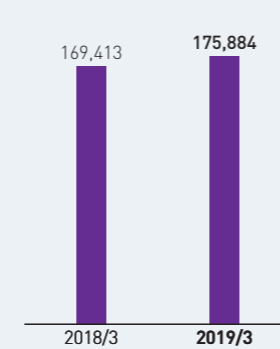
### 事業内容

国内外にわたる調達・加工・販売ネットワークを持つ水産商事・畜産商事ユニットおよび、市場流通の基幹を担う荷受ユニットから構成されています。



海外セグメント

売上高 (百万円)



売上高構成比 **19.1%**

海外ユニット  
 北米ユニット

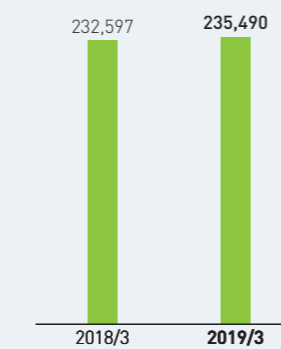
### 事業内容

中国・タイにおける水産物・加工食品の製造・販売およびオセアニアで漁業を展開する海外ユニットおよび、北米で漁獲されるスケソウダラ、サケ、カンニ等の調達・加工および製品を日本・北米・欧州で販売する北米ユニットから構成されています。



加工セグメント

売上高 (百万円)



売上高構成比 **25.5%**

家庭用冷凍食品ユニット  
 家庭用加工食品ユニット  
 業務用食品ユニット  
 化成ユニット

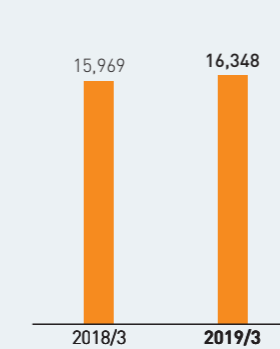
### 事業内容

家庭用冷凍食品の製造・販売を行う家庭用冷凍食品ユニット、缶詰・フィッシュソーセージ・ちくわ・デザート等の製造・販売を行う家庭用加工食品ユニット、業務用食材の製造・販売を行う業務用食品ユニットおよび水産物由来原料として開発されたDHA等の医薬品・健康食品素材などを含む化成品および調味料、フリーズドライ製品等の製造・販売を行う化成ユニットから構成されています。



物流セグメント

売上高 (百万円)



売上高構成比 **1.8%**

物流ユニット

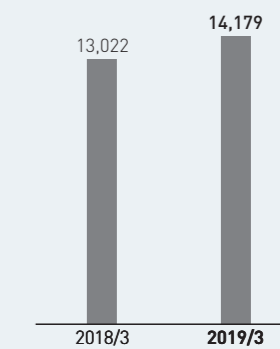
### 事業内容

水産品・畜産品から農産品・冷凍食品に至るまでさまざまな低温食品の保管および輸配送を行っています。全国の主要都市に約60万トンの設備能力を有しています。



その他

売上高 (百万円)



売上高構成比 **1.5%**

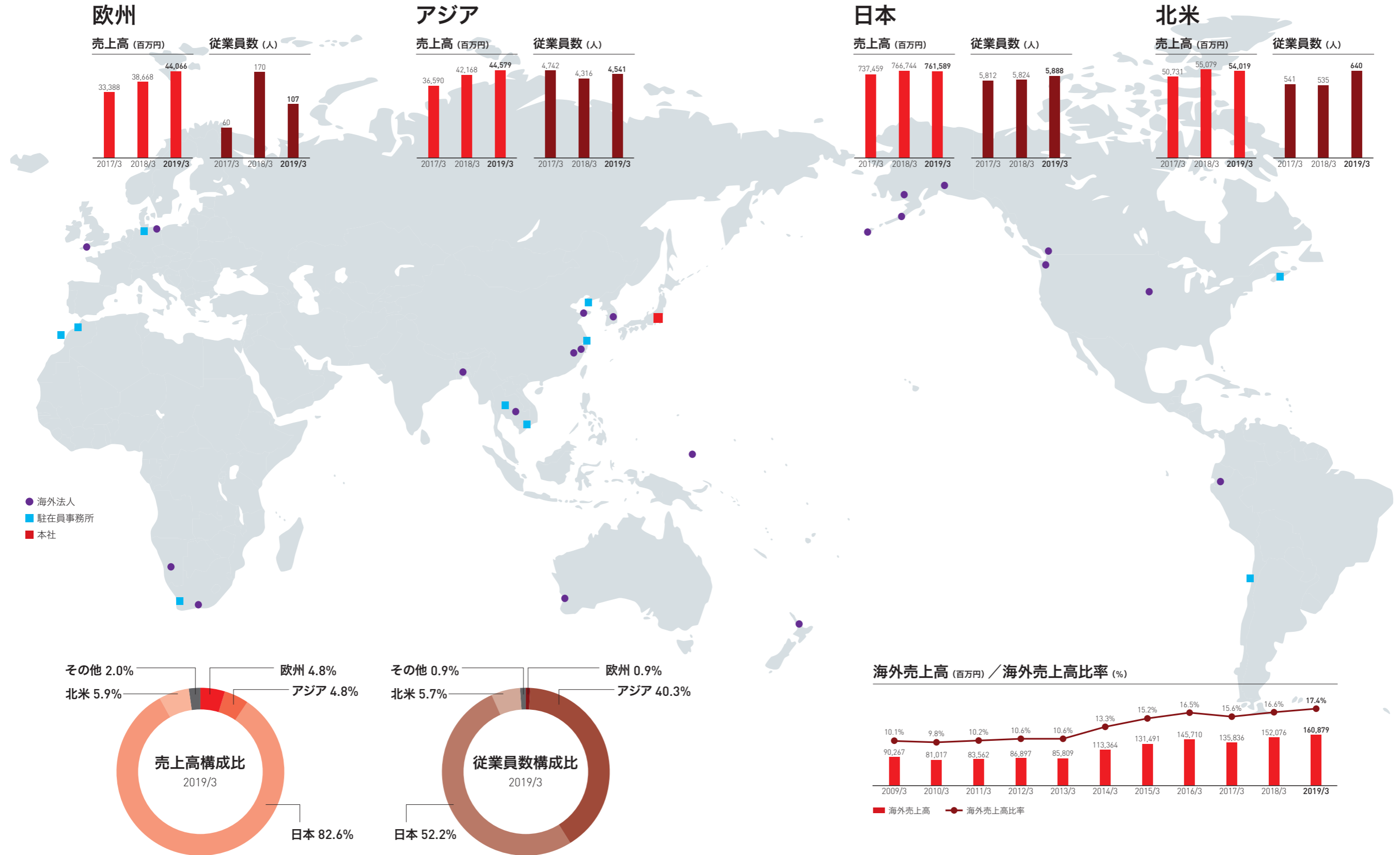
### 事業内容

飼料等の保管業、海運業、不動産業および毛皮・ペットフードの製造・販売業等。

※2019年3月期より、組織体制の見直しに伴い、従来「商事」セグメントに含まれていたマグロ加工事業を「加工」セグメントへ、飼料原料事業を「海外」セグメントへ、中食事業を「加工」セグメントへそれぞれ変更しています。なお、2018年3月期の数値は、変更後の区分方法にもとづき作成したものです。

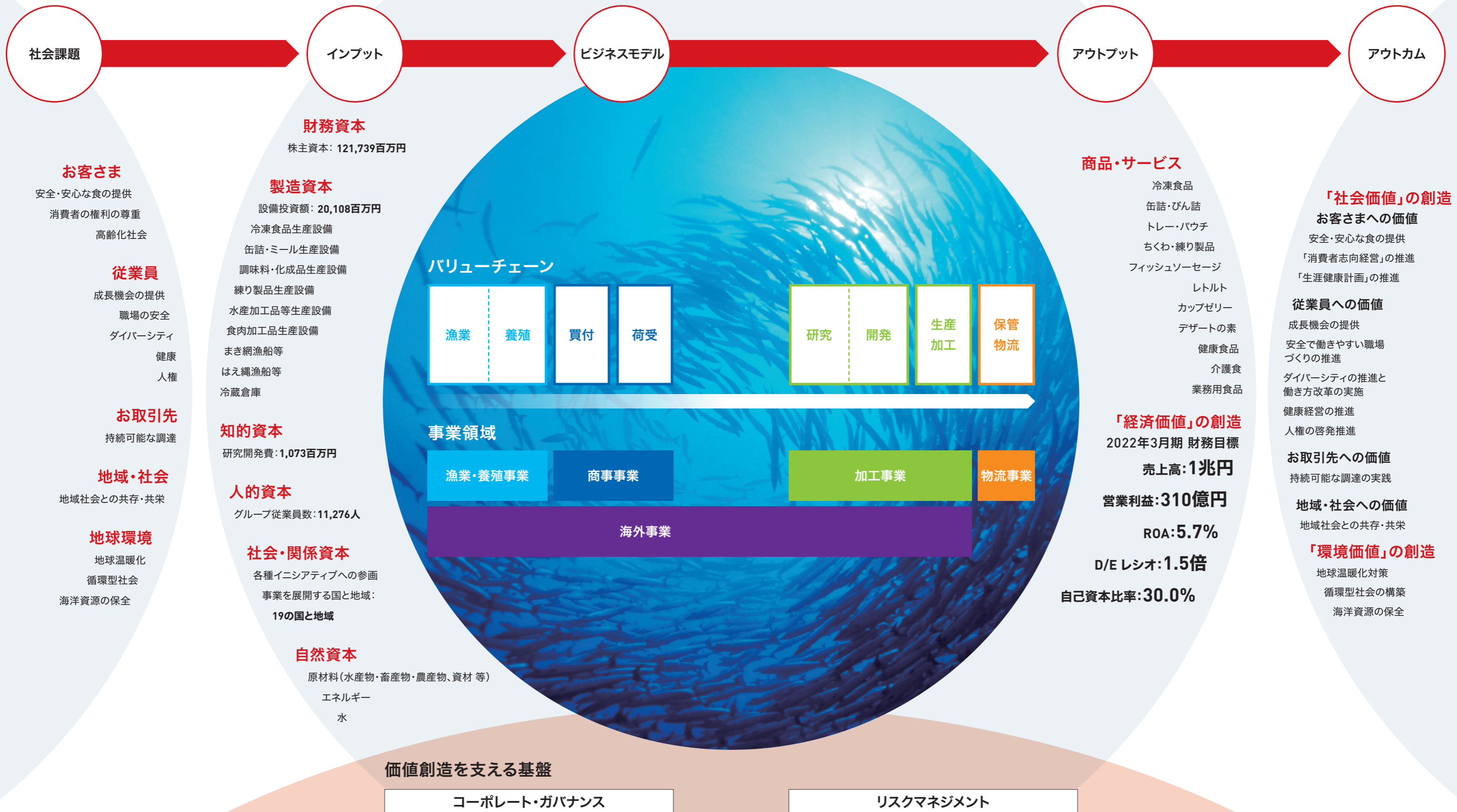
## グローバル展開

現在マルハニチログループは、19の国と地域に拠点網を持ち、グローバルなバリューチェーンを構築しています。水産物をコアに安全・安心な原料を買い付け、高付加価値な製品へ加工し、販売するという一貫したバリューチェーンを強みに、世界ナンバーワンの水産品、加工食品領域での地位を確立・強化することで、グローバルなエクセレントカンパニーをめざしています。



# 価値創造プロセス

マルハニチログループは、調達から生産・加工、物流、販売までの一貫したビジネスモデルによって、世界中の自然の恵みを世界中の食卓にお届けしています。海洋資源をはじめとする多様な社会資本を糧に、多くのステークホルダーとともに経済価値・社会価値・環境価値を創造し、地球社会の持続的成長に貢献していきたいと考えています。



## 財務・非財務サマリー

		2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
<b>連結損益計算書</b>												
売上高	百万円	897,452	828,715	823,399	816,121	809,789	851,708	863,784	884,811	873,295	918,820	922,468
営業利益	百万円	15,537	10,763	17,418	16,431	11,996	10,626	8,686	16,972	26,308	24,497	21,758
営業利益率	%	1.7	1.3	2.1	2.0	1.5	1.2	1.0	1.9	3.0	2.7	2.4
経常利益	百万円	8,081	7,751	15,083	14,878	13,250	13,954	11,834	17,124	27,874	27,917	25,233
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	△ 6,282	1,586	3,606	3,385	5,448	3,191	7,219	4,097	15,446	16,102	16,695

<b>連結貸借対照表</b>												
純資産	百万円	77,910	79,449	71,671	73,737	82,679	90,876	109,177	105,666	122,820	140,049	150,379
自己資本	百万円	63,973	65,596	58,973	61,193	69,561	77,106	88,893	85,197	100,664	115,459	125,353
自己資本比率	%	12.3	13.1	12.4	13.1	15.0	16.2	17.7	17.5	20.1	22.3	24.1
総資産	百万円	521,459	501,383	474,281	468,054	462,925	475,233	502,016	485,973	501,303	516,607	520,318
有利子負債残高	百万円	333,609	314,720	298,802	290,966	277,913	290,443	289,590	281,362	272,208	266,037	263,408

<b>連結キャッシュ・フロー計算書</b>												
営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	15,512	39,041	28,438	18,369	26,585	8,708	17,889	30,616	25,969	29,737	16,187
投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△ 8,686	△ 8,989	△ 9,399	△ 8,523	△ 11,773	△ 12,471	△ 7,087	△ 20,303	△ 11,097	△ 14,975	△ 11,854
財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△ 7,369	△ 26,824	△ 25,048	△ 13,149	△ 16,153	3,748	△ 10,748	△ 12,127	△ 13,618	△ 13,314	△ 7,863
現金及び現金同等物の期末残高	百万円	21,289	24,492	18,663	15,473	14,090	13,932	13,951	12,009	13,327	15,187	11,575

<b>主要財務指標</b>												
ROE	%	△ 8.9	2.4	5.8	5.6	8.3	4.4	8.7	4.7	16.6	14.9	13.9
ROA	%	1.5	1.5	3.1	3.2	2.8	3.0	2.4	3.5	5.6	5.5	4.9
D/Eレシオ	倍	5.2	4.8	5.1	4.8	4.0	3.8	3.3	3.3	2.7	2.3	2.1
1株当たり純資産	円	103.69	106.91	101.93	106.61	126.89	142.38	1,688.60	1,618.50	1,912.54	2,193.80	2,381.96
1株当たり当期純利益	円	△ 12.50	2.67	6.66	6.38	10.62	6.18	145.51	77.83	293.44	305.95	317.24
時価ベースの自己資本比率	%	13.2	13.5	13.1	15.8	18.7	17.7	17.8	22.7	35.4	34.6	40.1
C/F対有利子負債比率	年	21.5	8.1	10.5	15.8	10.5	33.4	16.2	9.2	10.5	8.9	16.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ	倍	2.8	7.8	6.8	4.9	8.2	2.8	6.9	11.5	13.3	16.9	9.0
設備投資額	百万円	14,031	14,524	9,974	13,688	12,369	15,137	16,310	21,007	19,872	17,818	20,108
減価償却費	百万円	14,097	14,282	13,869	13,654	13,455	13,161	13,614	14,603	13,962	14,686	14,930

※2009年3月期から2014年3月期は、(株)マルハニチロホールディングスの連結業績および経営指標等を記載しています。  
※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年3月期総資産については、当該会計基準等を遡って適用した後の金額です。

従業員数(連結)	人	14,341	14,094	13,216	12,554	12,335	12,110	11,803	11,258	11,237	10,938	11,276
従業員数(単体)	人	137	148	141	124	115	108	1,584	1,554	1,540	1,538	1,578
男性	人	109	116	114	99	95	87	1,285	1,258	1,253	1,245	1,248
女性	人	28	32	27	25	20	21	299	296	287	293	330
女性比率	%	20	22	19	20	17	19	19	19	19	19	21
平均残業時間	時間	16.35	13.39	10.3	9.55	9.46	13.50	18.10	17.31	16.36	16.18	15.55
社外取締役比率	%	8	15	15	17	20	20	11	12	20	20	20

2019年6月開催の第75期定時株主総会において女性社外取締役を1名選任し、女性取締役比率は10%となり、社外取締役比率は30%となりました。